

人口社会減対策に関する各委員の意見について

【移住・定住】

- ・「東京圏との日帰り」というキャッチコピーで、分譲地を売り出す。（武藤）
- ・UIJ ターン希望者への手厚い行政サポート（武藤）
- ・テレワークビルを建設し、UIJ ターン者を受入れ（宮越）
- ・「奨学金返還制度」の創設（丸山）
【Ex.】 当市での通算居住年数に応じて奨学金返還分を返還し、定住を促進する。
- ・若者の都市流出防止策と UIJ ターン政策の充実（江口）
- ・高校卒業時に卒業お祝いパックを寄贈（安田）
- ・リカレント塾の実施（安田）

【産業振興・企業誘致】

- ・新しい働き方であるリモートワークなどの企業誘致を目指す。（宮川）
- ・ショッピングモール等の商業施設やソフトウェア業界の企業の誘致（武藤）
- ・空き店舗を市が買い取り、開業・開店したい人に市が貸し出す。（武藤）
- ・廃校舎をテレワークしたい企業に貸し出す。（武藤）
- ・ホワイトバレー構想（宮越）
- ・全庁的な企業誘致プロジェクトチームの編成（丸山）

【就労】

- ・魅力ある就労環境の整備で収入を増やし「自立」を促す。（宮川）
- ・最低賃金の引上げ（武藤）
- ・新幹線通勤サラリーマンの受入れのために通勤費相当の住民税の減税措置を講じる。（宮越）
- ・正規雇用を増やす。（江口）
- ・上越教育大学、県立看護大学生に上越に残ってもらうため、教育・看護関係事業を増やす施策（栗田）
- ・スマート農業を推進して、若者たちに楽しい農業に取り組んでもらう。（栗田）

【まちづくり】

- ・高田南部と新幹線を結ぶ都市計画幹線道路の建設（宮越）
- ・「アーバンビレッジ」の建設（宮越）
- ・「日本桜庭園 上越」を高田城址公園に。（丸山）
- ・「町家・雁木保全条例」を制定し、新たに町家のリノベーション等に対する補助制度を創設する。（丸山）
- ・若い家族世帯を呼び込むための魅力ある環境整備（本山）
対策1：首都圏にはない「魅力」を発見する。
対策2：子育て世代共働き夫婦にターゲットを絞って環境整備をアピールする。
【Ex.】 「子育てするには上越市」・「住まい環境の充実」など他にない独自性を創出し、上手くアピールしていく重要性
対策3：移住・定住には自治体と企業側のコラボが必要不可欠である。
- ・コンパクトシティの推進（栗田）
- ・外国人生活者を受け入れられる生活環境をつくる。（栗田）
- ・都会的なセンスや娯楽も楽しめるまちをつくる。（栗田）

【子育て・教育】

- ・子育て支援政策の充実を図る。（江口）
- ・子どもたちの心に残る「ふるさと」づくり（栗田）
- ・上越ふるさと学習の推進（安田）
- ・郷土愛を育む活動で社会減を食い止める。（宮川）

【財政】

- ・財政の健全化（江口）